

# いけませかわら版

いけませ夏フェス'07 in 白老 6月22日・役場職員向け

もうすぐ夏フェス・ポスター原画制作者が新聞で紹介されました

もうすぐ夏フェスが白老にもやってきます。開催まで約1ヶ月に迫り開催地の白老では関係者が受入準備に汗を流しています。

6月20日、北海道新聞朝刊に今年のいけませ夏フェスのポスター原画を描いた、多湯加那子さんが紹介されました。新聞報道によると加那子さんは一家でいけませ夏フェスの常連で今年の開催を楽しみにしているとのこと。

「いけませフェス」  
地元・白老で開催

## 元気の恩返しを

常連・田湯さん ポスター描く



ポスターに採用された絵を手にする加那子さん(右)と父親の豊明さん

### 今年もボランティア

NPO法人「にわとりクラブ」が主催する「いけませ夏フェス」のポスター原画を描いた多湯加那子さんが、今年もボランティアとして参加する。加那子さんは、今年も「いけませ夏フェス」のポスター原画を描いた。加那子さんは、今年も「いけませ夏フェス」のポスター原画を描いた。加那子さんは、今年も「いけませ夏フェス」のポスター原画を描いた。

### 父の恩返し

多湯加那子さんは、今年も「いけませ夏フェス」のポスター原画を描いた。加那子さんは、今年も「いけませ夏フェス」のポスター原画を描いた。加那子さんは、今年も「いけませ夏フェス」のポスター原画を描いた。

多湯加那子さんは、今年も「いけませ夏フェス」のポスター原画を描いた。加那子さんは、今年も「いけませ夏フェス」のポスター原画を描いた。加那子さんは、今年も「いけませ夏フェス」のポスター原画を描いた。



本文をご覧になりたい方は町民課丸山まで

## いけませ夏フェスってなーに？

このかわら版の題字にある「いけませ」ってどういう意味でしょうか。「にわとりクラブ」をご存じでしょうか。正式にはNPO団体法人「障がい児の積極的な活動を支援する会 にわとりクラブ」といいます。事務局が札幌に置かれ障がいを持つ子供たちが積極的に社会に進出したり、健常者と障がい者がみんなで暮らしていけるような様々な活動を行っています。

いけませ夏フェスはこのような活動の一環として「いけ！ごちゃませ！」が語源と聞いています。そしてこの夏フェスは障がい児と家族がボランティアと交流しながらスポーツやレクリエーション行い、食事をともにして楽しみを共有し交流を深めようというものです。

## ボランティア大募集

昨年は蘭越町で開催され、多くの障がい児とその家族、蘭越町民や多くの方々のボランティアの協力を得て盛大に開催されました。今年は会場を白老町に移し8月4日(土)～5日(日)に萩野小学校を舞台に開催されます。この夏フェスには白老町民の方々からボランティアによるお手伝いをいただかなければなりません。

夏フェスの運営はもちろん、障がい児と多くのふれあいが必要であり、参加者が多ければ多いほど充実した夏フェスになるものと考えます。多くの役場職員のボランティア参加をお願いいたします。

なお、ボランティア参加いただける方は健康福祉課山口課長・中出主事までご一報下さい。

参考 にわとりクラブホームページ 「いけませ夏フェス」で  して下さい

# いけませ夏フェス'07 in 白老

## 2007. 8. 4 (土) ~ 5 (日)

### at 萩野小 ボランティア募集中

# いけませかわら版

いけませ夏フェス' 07 in 白老 7月25日発行第 2号

## 受入準備着々と進む・白老実行委員会が打ち合わせ

夏フェスまであと10日余りに近づいた7月24日夜、開催地白老の実行委員会が開催されました。この日、札幌の実行委員も含め10数名が白老町総合保健福祉センター(いきいき4. 6)に集まり、日程の確認や準備の状況について綿密に打ち合わせを行いました。

実行委員会は先ず、堂前文男開催地実行委員長が「開催まであとわずかとなりました。参加者に喜んでいただけるよう、ベストを尽くしましょう」とのあいさつで始まり、田湯白老事務局長が当日の日程や準備状況を説明し、出席者の間で確認が行われました。

打ち合わせの中で、田湯事務局長から8月3日夜の一大イベントの打ち上げ花火については、警察の許可もあり、大小100発以上の花火の打ち上げが可能となったこと、参加者の駐車場の手配状況などの説明や、開催地の地元ボランティアとして萩野商工振興会や地元町内会などから多くの協力を得ていることが報告されました。



## うまいぞ！ビーフシチュー 試食会大好評



実行委員会開催に先立ち、3日夜の夜の食事メニューの試食がありました。開催期間中の食事を用意していただくポプリの北平さんが調理器具を持ち込み、メインディッシュのビーフシチューの試食が行われました。このビーフシチューには白老町の阿部牛肉加工から提供される牛肉が使用されます。当初、牛肉の購入価格が高いことからこのメニューの実現が困難視されていましたが、白老町役場を通じ阿部牛肉加工にお願いしたところ「いけませのために特別価格で提供します」との千原同社専務の一声でメニューが実現することになりました。試食では、千原専務が立ち会い、北平さんが厚さや大きさの違う牛肉を調理し、ビーフシチューが一番おいしくなる牛肉を選びました。試食をした実行委員会の加藤久実子さんは「こくがあって本当においしい。ご飯にかけても最高」と絶賛。3日夜の晩ご飯が楽しみだ。



加藤さんも絶賛！！



田湯事務局長も準備に大忙し



千原専務(右)と役場の和野さん(左)

# いけませかわら版

いけませ夏フェス'07 in 白老 8月4日発行第3号

台風なんか吹き飛ばせ！ ころもいけませにして楽しもう！

「いけませ夏フェス07' in白老」に全道各地から御参加頂きありがとうございます。

いけませの趣旨である「障がい児と周囲の人々の融合の場」として、二日間が意義ある時間・空間であることを願っています。障がい児にとっては、楽しい場であり、ボランティアにとっても楽しみ学び成長する場であることを期待しております。残念ながら、台風が接近しており、プログラムに一部変更が出てくることも予想されますが、個人を大切にしながら「心もいけませにして」台風なんか吹き飛ばすつもりで楽しみましょう。

(堂前文男いけませ夏フェス07' in白老開催地実行委員長あいさつ)



## 今年のいけませには800人を超える参加が

今年のいけませ夏フェス07' in白老には840人の参加の申し込みがありました。札幌圏を中心に全道各地から参加総申込数が8月1日現在で470人の本人と家族、369名のボランティア参加が見込まれており合計839人という参加者が白老町に集まることになりました。

参加申し込みをとりまとめている田湯白老事務局長は「多くの人の参加とボランティア支援申し込みがあり、準備も大変だが、白老実行委員会はいけませ夏フェスの成功に向け、燃えています。」と抱負を述べており、「台風の影響が心配されるが、後は参加者の到着を待つだけ」と準備が万端に整っていると話してくれました。今回は地元の様々な団体や個人からボランティアの申し込みあり、多くの人たちが準備のため前日から早くから汗を流していただきました。そんな応援を受けみんながいけませに集うパワーを結集して、大いに楽しもうではありませんか。



雨の中、いけませ目印ののぼりの準備



部屋わりも決まって後は迎えるだけ

# 前日・早朝から受け入れ準備

いけまぜ夏フェスin白老の開催準備のため、前日の8月3日午前から受け入れ準備が始められました。カメラルポでご紹介します。



器材・備品の受け入れです



網戸も取り付けます



部屋割りの確認です



危険な場所にはテープを貼ってます



たくさんの布団が到着しました



朝早くからボランティアの受付



布団の運び込みも終わりました



ボランティアも続々集合してます

# いけまぜかわら版

いけまぜ夏フェス'07 in 白老 8月4日発行第4号

## 「いけまぜ夏フェス07' in 白老」盛大にオープン

台風が接近する中、全道各地からいけまぜの参加者が続々と集まってきました。参加者が雨に濡れないよう、ボランティアが降車のお手伝いをし、受付後さっそく記念写真となりました。



左・美幌町・信太愛香さん・初めて 中・恵庭市・手島くるみさん3回目 右・釧路市・佐々木よしひろくん・昨夜11時に出てきました

## 高橋大会長あいさつ・堂前開催地委員長かんげい

午後1時、白老町立萩野小学校体育館で、「いけまぜ夏フェス07' in 白老」が盛大に幕を開けました。最初に高橋大会長が「皆さんにコロボックルのふるさとに集まってもらいました」と話を始め、「いけまぜはお互いにお互いをぶっけあって、お互いを知ることが大事です。」「2日間をお互いに有意義に過ごしてほしい」とし、「白老の皆様にはお世話になります」とあいさつしました。

続いて堂前開催地実行委員長が、「台風のため、屋外で受付ができませんでした。台風になげずに2日間を楽しんでください。」「いけまぜの趣旨を理解し参加者もボランティアもしっかりと交流していただきたいと」歓迎のあいさつをしました。

あいさつの後、参加者ボランティア全員で「いけまぜの歌」を合唱しオープニングを盛り上げました。この後、白老町立萩野中学校吹奏楽部が演奏を披露、KAZさんと一緒に体全体で歌を歌い会場内は“いけまぜ状態”になりました。



高橋大会長のあいさつ



体育館はいけまぜ状態



堂前開催地実行委員長

# いけまぜにみんな集う・全道各地から



夕食の準備  
←白老牛のビーフシチュー  
メンチカツを揚げてます→  
サラダにフルーツポンチが つきます



# いけまぜかわら版

いけまぜ夏フェス' 07 in 白老 8月5日発行 第5号

## 午後からポイントラリーやポロト見学へ

盛大なオープニングセレモニーが終わった後参加者は、思い思いの午後に過ごしました。ポロト見学組はバスや乗用車に分乗してポロト湖畔にあるアイヌ民族博物館へ行きました。博物館では古式豊かなアイヌの踊りやムックリの演奏を楽しみました。

また、午後3時頃から雨が小降りになり、屋外でやきとりや焼きそばの定番メニュー、たこ焼きなど様々な出店がオープンしました。

また、屋内では餅つき、押し花、紙芝居など多彩なイベントが行われ多くの参加者がそれぞれに楽しみました。



## おいしかったなビーフシチューとメンチカツ

今年はいけまぜの夕食は白老牛のビーフシチューとメンチカツがメインディッシュ。夕食の配膳場所には長蛇の列となりました。牛肉は地元白老の「あべ牛」さんにいけまぜのために特別価格で提供していただきました。おいしかったでしょ！かんげきー……！



つるやゆうたくんの一家  
白老牛がおいしい……



あべりょうたくん・いしかわまことくん  
ごはんもおいももおいしいよ



たにぐちたくみくん・さつきさん  
めんちかつもおいしいよ

# いけまぜにみんな集う・午後の部です



夕食の準備とごちそうさま

←盛りつけも大変です

全部平らげました→

あとはステージと花火の出番だ





# いけまぜかわら版

いけまぜ夏フェス'07 in 白老 8月5日発行第6号

## 台風一過、夜空に大輪の友情花火咲く

台風一過、雨も上がった午後8時、打ち上げが危ぶまれていた大イベント・花火大会が無事行われました。次々と打ち上げられる花火に大きな歓声が沸き起こっていました。



## みんな元気で！来年は日高町でお逢いしましょう

昨日の花火の感激が忘れられず、お寝坊をしてしまった人も多かったようです。2日目の朝は、ラジオ体操に始まり、フランクフルトとパンの朝ご飯の後、お部屋の後片付けが行われました。朝の一息ついた後、体育館に会場を移しミニ運動会が行われました。ボールを使ったりレーなどに精一杯、体を動かしました。

そして、今年の夏フェスもいよいよ最後を迎え、フィナーレとなりました。体育館に参加者とボランティアが全員集まり、別れを惜しみ、来年の再会を約束し合いました。

柏葉副大会長が締めくくりのあいさつをし、参加者全員にボランティアを通じて修了証書が手渡されました。開催地の堂前実行委員長が「台風も何のその、みんなの元気で吹き飛ばしてしまいました。多くの思い出をつくってくれたと思います。」とお別れのあいさつをしました。

最後に来年の開催予定地の日高町の平林さんに白老町の田湯事務局長からいけまぜの旗が渡され、みんなで再会を誓い合いました。

大会は最後に記念写真を撮影し、「みんなともだち」を合唱して参加者はそれぞれのお家に帰りました。



元気にラジオ体操



やった！みんなで寝よう



朝ご飯もおいしかったなあー

# いけませかわら版

いけませ夏フェス'07 in 白老 8月17日発行第7号

## 「いけませ夏フェス07' in 白老」ご苦労様でした

台風が接近する中、8月4日午後、全道各地からいけませの参加者が続々と集まり、そして盛大に夏フェスが行われました。そして、全てのイベントが無事終了し、来年日高町で再会することを近い、参加者は家路につきました。

夏フェスは準備段階から多くの白老町民が陰に陽に手を携え協力し合い、本番の成功に向け取り組みを進めてきました。参加者が雨に濡れないよう、ずぶ濡れになりながらボランティアが降車のお手伝いをし、翌日は午後から後片付けと汗まみれになりながら、精一杯がんばった成果が見事に夏フェスの大成功という形で現れたものと思います。

## enjoy出来たのは一生の思い出です・頑張ってた良かったなどの声が

今回の夏フェス後、手元に届いた声を何点かご紹介しましょう。

札幌市の納屋さんからお葉書が届いています。「8/4.5の2日間とても楽しい有意義な時間をありがとうございました。私たちは初参加だったのですが、生憎の天候にも関わらず心の底から楽しむことが出来ました。これもひとえに白老町役場の皆様はじめ、町民の皆さんの笑顔とハートとバイタリティのお陰と感謝しております。肢体不自由に加え知的にも最重度の息子と、自身が心臓に内部障害で手帳を持つ身の私もenjoy出来たのは一生の思い出です。特に朝早くから二次加工の必要な子供用の食事支度をして下さった地元お母さん'sの皆様ありがとうございましたあんなに食べるのを見たのも、おいしい牛肉は実は初めてです、感謝です！」

にわとりクラブの加藤久実子さんからはメールで「いけませ夏フェスの時には大変お世話になりました。長い準備期間をかけてわずか、2日間のために多くの人たちが動きますが、参加者たちが帰って行く様子を見ると、「あ〜、がんばってここまでたどり着けて良かった」と思いました。今すぐの結果も勿論大事ですが、まだまだずっと先にしか出ない結果もあるのだと思っております」と今後の活動を続けていく“決意”が送られてきました。

また衆議院議員の逢坂誠二さんからは「過日のいけませ夏フェスでは大変お世話になり心から感謝とお礼を申し上げます。限られた時間ではありましたが、障がい児の皆様と楽しいひとときを過ごすことが出来ました。私は、ただ見ているのではなく、自分自身がしっかりと具体的な活動を行っていかねばならないと気持ちを新たにしております。」と封書で感想とともに決意が送られてきました。



とときを過ごすことが出来ました。私は、ただ見ているのではなく、自分自身がしっかりと具体的な活動を行っていかねばならないと気持ちを新たにしております。」と封書で感想とともに決意が送られてきました。

全ての感想やご意見などをかわら版班が承知しているわけではありませんが、きっとボランティアをされた多くの皆さんは同様の感謝などの声をきっとお聞きになっていることでしょう。

←大成功に終わった

いけませ夏フェス'07 in 白老

# ボランティア奮闘記・暑い中頑張りました



白老で実行委員会開催しました



夕食の試食調理です



もちろんお味のチェックも



様々な機材を搬入・仕分けします



網戸も取り付けます



スロープには滑り止めのマットを



布団の準備・総掛かりです



受付も大変でした



ずぶ濡れになりながらお迎えです



特別食も用意しました



シチュー用の牛肉を調理しました



多くの人と交流できました

## 本当に多くのボランティア・協力ありがとうございます

いけまぜにご協力いただいた団体名(かわら版班で確認できた団体名)

白老町商工会・白老町婦人団体連絡協議会・白老町ボランティア登録者連絡会・白老町高齢者事業団・白老町交通安全指導員部会・白老町東高等学校・北海道栄高等学校・白老町立萩野小学校・白老町立萩野中学校・通所授産施設フロンティア・知的障がい者通所施設ポプリ・特定非営利活動法人どんぐりの家・白老町消防職員協議会・北海道リハビリテーションセンター・白老ライオンズクラブ・白老ロータリークラブ・白老青年会議所・萩野商工振興会・三和製箱(有)・白老町萩野地区各町内会・川田建設・児玉建設・後藤家具店・白老町医師協議会・白老町歯科医師協議会・不二家白老店・日本製紙(株)白老工場・(財)アイヌ民族博物館・(株)あべ牛・ヘルム39・おーい元気会・白老町役場職員・(順不同) 個人ボランティアの多くの方々、なお団体名洩れがありましたらばお詫び申し上げます。